

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
設定日	2016年7月29日
信託期間	無期限
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の金融商品取引所に上場している新興国の株式を対象とした投資信託証券（ETF）に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。異なる特性を有するETFを効果的に組み合わせることにより、リスク調整後期待リターンを高める運用を目指します。また、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	ひとくふう新興国株式ファンド ・ひとくふう新興国株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 ひとくふう新興国株式マザーファンド ・主に世界の金融商品取引所に上場している新興国の株式を対象とした投資信託証券を主要投資対象とします。
投資制限	ひとくふう新興国株式ファンド ・株式への直接投資は行いません。 ・親投資信託および親投資信託を通じて行う金融商品取引所上場の投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ひとくふう新興国株式マザーファンド ・投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の金融商品取引所上場の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年3月3日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

# 運用報告書（全体版）

第4期

決算日 2020年3月3日

## ひとくふう新興国株式ファンド

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「ひとくふう新興国株式ファンド」は、去る2020年3月3日に第4期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# ひとくふう新興国株式ファンド

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算)		投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
(設定日) 2016年7月29日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 14
第1期 (2017年3月3日)	11,242	0	12.4	11,826	18.3	93.7	19
第2期 (2018年3月5日)	12,706	0	13.0	14,150	19.7	98.2	50
第3期 (2019年3月4日)	11,842	0	△ 6.8	13,744	△ 2.9	95.9	51
第4期 (2020年3月3日)	10,921	0	△ 7.8	13,222	△ 3.8	91.2	34

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算) とは、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算)		投資信託証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2019年3月4日	円 11,842	% —	13,744	% —	% 95.9
3月末	11,726	△ 1.0	13,558	△ 1.4	94.6
4月末	11,977	1.1	14,091	2.5	95.8
5月末	11,136	△ 6.0	12,770	△ 7.1	92.0
6月末	11,611	△ 2.0	13,427	△ 2.3	93.9
7月末	11,499	△ 2.9	13,457	△ 2.1	93.2
8月末	10,622	△ 10.3	12,294	△ 10.6	91.4
9月末	11,010	△ 7.0	12,898	△ 6.2	90.1
10月末	11,588	△ 2.1	13,550	△ 1.4	94.2
11月末	11,624	△ 1.8	13,759	0.1	97.5
12月末	12,172	2.8	14,700	7.0	89.5
2020年1月末	11,560	△ 2.4	14,039	2.1	94.4
2月末	10,954	△ 7.5	13,544	△ 1.5	94.3
(期末) 2020年3月3日	10,921	△ 7.8	13,222	△ 3.8	91.2

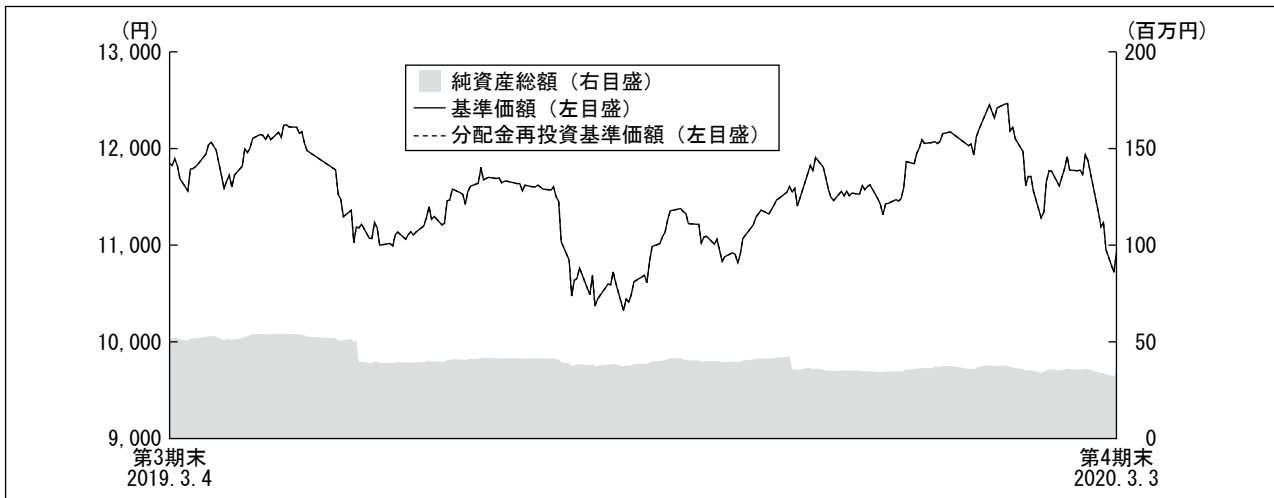
\*騰落率は期首比です。

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率を記載しています。

# ひとくふう新興国株式ファンド

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第4期首：11,842円

第4期末：10,921円（既払分配金 0円）

騰落率：△7.8%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、ひとくふう新興国株式マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の金融商品取引所に上場している新興国の株式を対象とした投資信託証券（ETF）に投資を行いました。

（下落要因）

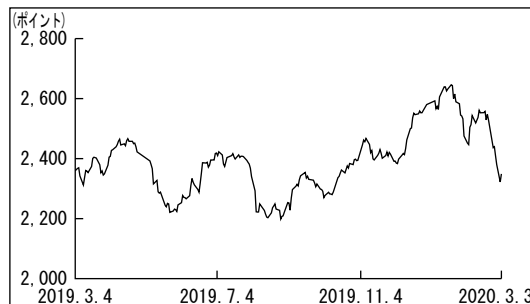
組み入れているETFの価格が下落したことが要因となりました。

## ひとくふう新興国株式ファンド

### 【投資環境】

当期の新興国株式市場は下落しました。期初から2019年4月にかけては米中貿易協議の進展期待や良好な経済指標が相場の支えとなりましたが、5月に米国が対中関税の引き上げを発表すると大幅に調整しました。6月は欧米の金融緩和期待が高まったことを背景に上昇しましたが、逃亡犯条例の改正案に反対する香港でのデモの拡大が投資家心理を冷やし、また7月から8月にかけて米国の利下げ観測の後退が意識されると反落しました。9月以降は、米中貿易協議の進展を受けて世界景気への下押し懸念が後退し、12月にかけて上昇基調となりました。特に年末から2020年の年初にかけては、米国での利上げの見送り、世界的な半導体株高、米中通商協議に関する第一段階の合意の署名が相場を押し上げました。しかし、同年1月に中国の武漢で発生した新型肺炎の感染が拡大すると、世界景気に与える影響を警戒する見方が広がったことで反落し、期末にかけて下落基調をたどりしました。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) の推移



### 【ポートフォリオ】

#### ■ひとくふう新興国株式ファンド

主要投資対象であるひとくふう新興国株式マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な投資信託証券組入比率は91.2%としました。

#### ■ひとくふう新興国株式マザーファンド

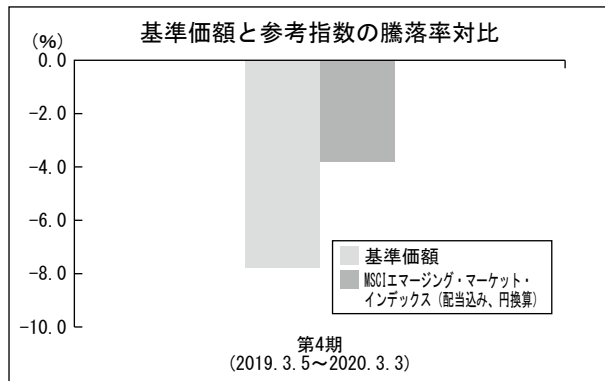
当期の騰落率は、△7.4%となりました。

新興国を対象としたETFに分散投資を行いました。最小分散戦略のETFであるiShares Edge MSCI Min Vol Emerging Markets ETF、高配当戦略のETFであるWisdomTree Emerging Markets High Dividend Fund、市場追随戦略のETFであるiShares Core MSCI Emerging Markets ETF等に投資を行いました。

# ひとくふう新興国株式ファンド

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 【分配金】

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第4期	
	2019年3月5日 ~2020年3月3日	
当期分配金	(円)	0
(対基準価額比率)	(%)	0.00
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,098

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# ひとくふう新興国株式ファンド

## 今後の運用方針

### ■ひとくふう新興国株式ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の金融商品取引所に上場している新興国の株式を対象としたETFに投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■ひとくふう新興国株式マザーファンド

引き続き当ファンドでは、異なる特性を有するETFを効果的に組み合わせることにより、リスク調整後リターンを高めることを目指して運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年3月5日～2020年3月3日		
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.326%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,457円です。
(投信会社)	(17)	(0.147)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(17)	(0.147)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	27	0.238	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投資証券)	(27)	(0.238)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.003	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投資証券)	(0)	(0.003)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	27	0.233	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(22)	(0.194)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.012)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(3)	(0.027)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	92	0.799	

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

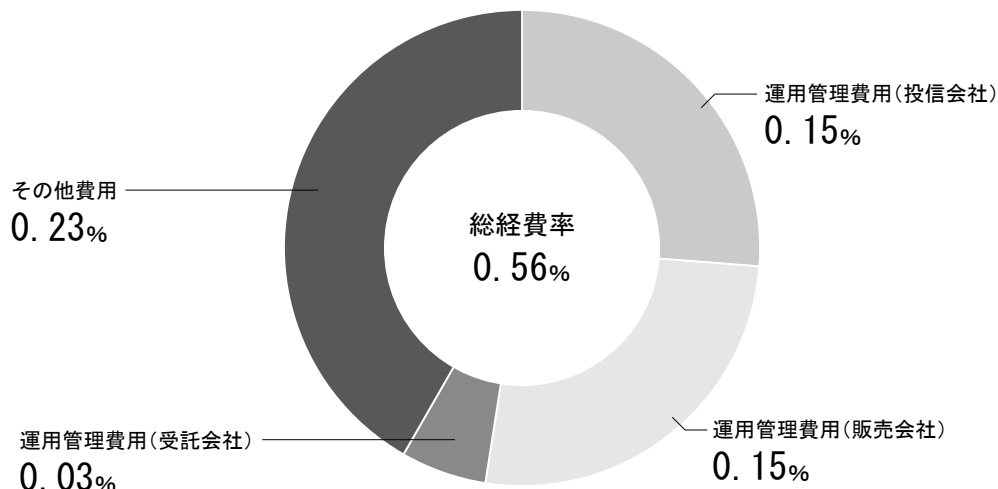
\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

# ひとくふう新興国株式ファンド

## 参考情報 総経費率（年率換算）



\*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

\*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

\*総経費率の他にマザーファンドで保有している外国投資信託証券では年率0.42%の費用が発生しています。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は0.56%です。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2019年3月5日から2020年3月3日まで）

	設		定		解		約	
	口	数	金	額	口	数	金	額
		千口		千円		千口		千円
ひとくふう新興国株式マザーファンド		9,852		11,428		22,006		25,464

# ひとくふう新興国株式ファンド

## 利害関係人との取引状況等

(2019年3月5日から2020年3月3日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年3月5日から2020年3月3日まで)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 10	百万円 —	当初設定時における取得とその処分

## 組入資産の明細

2020年3月3日現在

### ■親投資信託残高

	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ひとくふう新興国株式マザーファンド	千口 43,116	千口 30,962	千円 34,235

\*ひとくふう新興国株式マザーファンド全体の受益権口数は、30,962千口です。

## 投資信託財産の構成

2020年3月3日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
ひとくふう新興国株式マザーファンド	千円 34,235	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	34,235	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=108.24円

\*ひとくふう新興国株式マザーファンド

当期末における外貨建資産(32,450千円)の投資信託財産総額(34,236千円)に対する比率 94.8%



# ひとくふう新興国株式ファンド

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月3日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	34,235,295円
ひとくふう新興国株式マザーファンド(評価額)	34,235,295
(B) 負 債	65,277
未 払 信 託 報 酬	60,563
そ の 他 未 払 費 用	4,714
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	34,170,018
元 本	31,287,266
次 期 繰 越 損 益 金	2,882,752
(D) 受 益 権 総 口 数	31,287,266口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,921円

### \*元本状況

期首元本額	43,401,740円
期中追加設定元本額	9,949,868円
期中一部解約元本額	22,064,342円

## 損益の状況

自2019年3月5日  
至2020年3月3日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△2,462,191円
売 買 益	790,229
売 買 損	△3,252,420
(B) 信 託 報 酬 等	△ 138,292
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△2,600,483
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 189,251
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,672,486
(配 当 等 相 当 額)	( 3,848,829)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 1,823,657)
(F) 計 (C+D+E)	2,882,752
次 期 繰 越 損 益 金(F)	2,882,752
追 加 信 託 差 損 益 金	5,672,486
(配 当 等 相 当 額)	( 3,878,459)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 1,794,027)
分 配 準 備 積 立 金	2,686,004
繰 越 損 益 金	△5,475,738

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

### <分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 取 益(費用控除後)	1,007,861円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 取 益 調 整 金	3,878,459
(D) 分 配 準 備 積 立 金	1,678,143
分 配 可 能 額(A+B+C+D)	6,564,463
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	( 2,098.13)
取 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 取 益 分 配 金)	( 0)

## お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# ひとくふう新興国株式マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2020年3月3日

(第4期：2019年3月5日～2020年3月3日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

<b>商品分類</b>	親投資信託
<b>信託期間</b>	無期限
<b>運用方針</b>	主に世界の金融商品取引所に上場している新興国の株式を対象とした投資信託証券（ETF）に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。
<b>主要運用対象</b>	主に世界の金融商品取引所に上場している新興国の株式を対象とした投資信託証券を主要投資対象とします。
<b>投資制限</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。</li><li>・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の金融商品取引所上場の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

# ひとくふう新興国株式マザーファンド

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算) (参考指数)		投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日) 2016年7月29日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	百万円 14
第1期 (2017年3月3日)	11,276	12.8	11,826	18.3	93.7	19
第2期 (2018年3月5日)	12,744	13.0	14,150	19.7	98.1	50
第3期 (2019年3月4日)	11,942	△ 6.3	13,744	△ 2.9	95.7	51
第4期 (2020年3月3日)	11,057	△ 7.4	13,222	△ 3.8	91.1	34

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算) とは、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算) (参考指数)		投資信託 組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2019年3月4日	円 11,942	% —	13,744	% —	% 95.7
3月末	11,828	△ 1.0	13,558	△ 1.4	94.5
4月末	12,084	1.2	14,091	2.5	95.2
5月末	11,236	△ 5.9	12,770	△ 7.1	91.9
6月末	11,718	△ 1.9	13,427	△ 2.3	93.7
7月末	11,609	△ 2.8	13,457	△ 2.1	93.1
8月末	10,724	△ 10.2	12,294	△ 10.6	91.2
9月末	11,120	△ 6.9	12,898	△ 6.2	90.1
10月末	11,709	△ 2.0	13,550	△ 1.4	94.1
11月末	11,747	△ 1.6	13,759	0.1	97.2
12月末	12,303	3.0	14,700	7.0	89.4
2020年1月末	11,692	△ 2.1	14,039	2.1	94.3
2月末	11,083	△ 7.2	13,544	△ 1.5	94.1
(期末) 2020年3月3日	11,057	△ 7.4	13,222	△ 3.8	91.1

\*騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

期首：11,942円  
期末：11,057円  
騰落率：△7.4%

### 【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

組み入れているETFの価格が下落したことが要因となりました。

### 【投資環境】

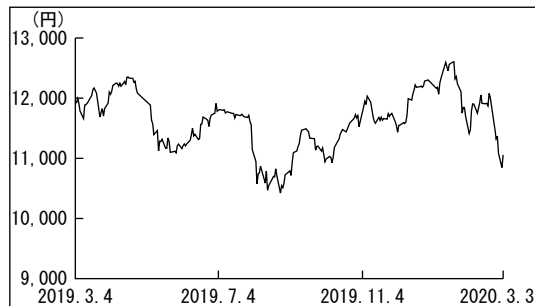
当期の新興国株式市場は下落しました。期初から2019年4月にかけては米中貿易協定の進展期待や良好な経済指標が相場の支えとなりましたが、5月に米国が対中関税の引き上げを発表すると大幅に調整しました。6月は欧米の金融緩和期待が高まったことを背景に上昇しましたが、逃亡犯条例の改正案に反対する香港でのデモの拡大が投資家心理を冷やし、また7月から8月にかけて米国の利下げ観測の後退が意識されると反落しました。9月以降は、米中貿易協定の進展を受けて世界景気への下押し懸念が後退し、12月にかけて上昇基調となりました。特に年末から2020年の年初にかけては、米国での利上げの見送り、世界的な半導体株高、米中通商協定に関する第一段階の合意の署名が相場を押し上げました。しかし、同年1月に中国の武漢で発生した新型コロナウイルスの感染が拡大すると、世界景気に与える影響を警戒する見方が広がったことで反落し、期末にかけて下落基調をたどりました。

### 【ポートフォリオ】

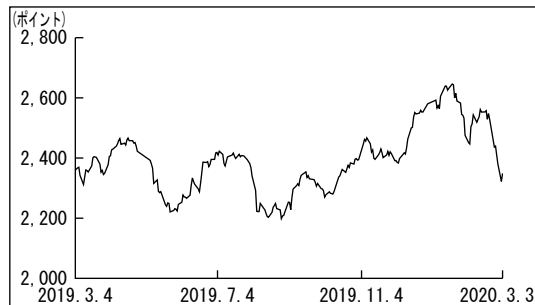
当期の騰落率は、△7.4%となりました。

新興国を対象としたETFに分散投資を行いました。最小分散戦略のETFであるiShares Edge MSCI Min Vol Emerging Markets ETF、高配当戦略のETFであるWisdomTree Emerging Markets High Dividend Fund、市場追随戦略のETFであるiShares Core MSCI Emerging Markets ETF等に投資を行いました。

基準価額の推移



MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) の推移



# ひとくふう新興国株式マザーファンド

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

基準価額の騰落率は、参考指数であるMSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算）の騰落率△3.8%を3.6%下回りました。

## 今後の運用方針

引き続き当ファンドでは、異なる特性を有するETFを効果的に組み合わせることにより、リスク調整後リターンを高めることを目指して運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年3月5日～2020年3月3日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資証券)	27円 (27)	0.237% (0.237)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (投資証券)	0 (0)	0.003 (0.003)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (その他)	25 (22) (3)	0.219 (0.192) (0.027)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	53	0.459	
期中の平均基準価額は11,571円です。			

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2019年3月5日から2020年3月3日まで)

### ■投資証券

		買		付		売		付	
		口	数	金	額	口	数	金	額
外国	ISHARES CORE MSCI EMERGING	3,820		千アメリカ・ドル	203		2,640	千アメリカ・ドル	129
	ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EM	2,520			144		2,550		151
	INVESCO FTSE RAFI EMERGING M	410			8		6,620		144
	WISDOMTREE EMERGING MARKETS	320			13		1,620		69

\*金額は受渡し代金

# ひとくふう新興国株式マザーファンド

## 利害関係人との取引状況等

(2019年3月5日から2020年3月3日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

2020年3月3日現在

### ■外国投資証券

銘柄	期首（前期末）		当期		期末
	口数	口数	口数	外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ・ドル…アメリカ)	口	口	口	千アメリカ・ドル	千円
ISHARES CORE MSCI EMERGING	—	1,180	58	6,335	
ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EM	2,200	2,170	116	12,638	
INVESCO FTSE RAFI EMERGING M	6,210	—	—	—	
WISDOMTREE EMERGING MARKETS	4,080	2,780	112	12,201	
合計	金額 12,490	金額 6,130	金額 288	金額 31,175	
	銘柄数 <比率> 3銘柄	銘柄数 3銘柄	—	<91.1%>	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する投資証券評価額の比率

## 投資信託財産の構成

2020年3月3日現在

項目	当期		期末
	評価額	評価額	比率
投資証券	千円 31,175	千円 31,175	% 91.1
コール・ローン等、その他	3,060	3,060	8.9
投資信託財産総額	34,236	34,236	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=108.24円

\*当期末における外貨建資産 (32,450千円) の投資信託財産総額 (34,236千円) に対する比率 94.8%

# ひとくふう新興国株式マザーファンド

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月3日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	34,236,670円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,060,876
投 資 証 券 (評価額)	31,175,794
(B) 純 資 産 総 額 (A)	34,236,670
元 本	30,962,554
次 期 繰 越 損 益 金	3,274,116
(C) 受 益 権 総 口 数	30,962,554口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (B/C)	11,057円

\*元本状況

期首元本額	43,116,470円
期中追加設定元本額	9,852,818円
期中一部解約元本額	22,006,734円

\*元本の内訳

ひとくふう新興国株式ファンド	30,962,554円
----------------	-------------

## 損益の状況

自2019年3月5日  
至2020年3月3日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,268,387円
受 取 配 当 金	1,269,355
支 払 利 息	12
受 取 利 息	△ 980
(B) 有 価 証 券 買 損 益	△4,395,754
売 買 益	793,576
売 買 損	△5,189,330
(C) そ の 他 費 用	△ 87,846
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△3,215,213
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	8,371,940
(F) 解 約 差 損 益 金	△3,457,875
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,575,264
(H) 計 (D+E+F+G)	3,274,116
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	3,274,116

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# ひとくふう新興国株式マザーファンド

## 参考情報

### ■投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	運用対象	連動を目指すインデックス
iShares Edge MSCI Min Vol Emerging Markets ETF	新興国株式	MSCI Emerging Markets Minimum Volatility Index
WisdomTree Emerging Markets High Dividend Fund	新興国株式	WisdomTree Emerging Markets High Dividend Index
iShares Core MSCI Emerging Markets ETF	新興国株式	MSCI Emerging Markets Investable Market Index

\*各ETFで開示されている情報をもとに、委託会社が作成しています。

### ■投資対象とする投資信託証券の内容

当ファンドの運用報告書作成時点において、各ETFにおける入手可能な直前計算期間末の情報に基づき委託会社が作成したものを記載しております。

### iShares Edge MSCI Min Vol Emerging Markets ETF

#### 【組入上位銘柄】

銘柄名	比率
1 FIRST FINANCIAL HOLDING LTD	1.6%
2 BANK CENTRAL ASIA	1.5%
3 TAIWAN COOPERATIVE FINANCIAL HOLDI	1.5%
4 CHUNGHWA TELECOM LTD	1.5%
5 TAIWAN MOBILE LTD	1.4%
6 GUANGDONG INVESTMENT LTD	1.4%
7 CHINA MOBILE LTD	1.3%
8 FAR EASTONE TELECOMMUNICATIONS LTD	1.3%
9 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING LTD	1.2%
10 AIRPORTS OF THAILAND NON-VOTING DR	1.1%

(組入銘柄数 350銘柄)

※ iShares Edge MSCI Min Vol Emerging Markets ETFの純資産総額に対する比率です。

※ iShares Edge MSCI Min Vol Emerging Markets ETFの決算日は2019年8月末ですが、データの取得ができない為、直近取得可能な2019年12月末のBlackRock, Inc. が開示しているデータに基づき作成しております。

#### 【費用明細】

エクスペンスレシオ	0.25%
-----------	-------

### WisdomTree Emerging Markets High Dividend Fund

#### 【組入上位銘柄】

銘柄名	比率
1 Gazprom PJSC	5.4%
2 Hon Hai Precision Industry Co	3.1%
3 Tatneft PAO	3.1%
4 Lukoil PJSC ADR	3.0%
5 MMC Norilsk Nickel PJSC-ADR	2.8%
6 China Construction Bank Corp H	2.7%
7 Sberbank of Russia	2.3%
8 China Mobile Ltd	2.3%
9 Industrial & Commercial Bank of China-H	1.8%
10 CNOOC Ltd	1.8%

(組入銘柄数 505銘柄)

※ WisdomTree Emerging Markets High Dividend Fundの純資産総額に対する比率です。

※ WisdomTree Emerging Markets High Dividend Fundの決算日は2019年3月末ですが、データの取得ができない為、直近取得可能な2019年12月末のWisdomTreeが開示しているデータに基づき作成しております。

#### 【費用明細】

エクスペンスレシオ	0.63%
-----------	-------



# ひとくふう新興国株式マザーファンド

## iShares Core MSCI Emerging Markets ETF

### 【組入上位銘柄】

	銘柄名	比率
1	ALIBABA GROUP HOLDING ADR REPRESENTATIVE CLASS	5.1%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	4.0%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	3.9%
4	SAMSUNG ELECTRONICS LTD	3.3%
5	CHINA CONSTRUCTION BANK CORP H	1.2%
6	NASPERS LIMITED N LTD	1.0%
7	PING AN INSURANCE (GROUP) CO OF CH	0.9%
8	RELIANCE INDUSTRIES LTD	0.9%
9	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORPORATION	0.8%
10	CHINA MOBILE LTD	0.7%

(組入銘柄数 2,490銘柄)

※ iShares Core MSCI Emerging Markets ETFの純資産総額に対する比率です。

※ iShares Core MSCI Emerging Markets ETFの決算日は2019年8月末ですが、データの取得ができない為、直近取得可能な2019年12月末のBlackRock, Inc. が開示しているデータに基づき作成しております。

### 【費用明細】

エクスペンスレシオ	0.14%
-----------	-------